

近畿中部



「近中くん」
近畿中部防衛局のマスコットキャラクター
生年月日：平成 19 年 9 月 1 日（防災の日）
出身：近畿中部地方
名前：近中くん（きんちゅうくん）
職業：徳し業
宝物：手作りのまが玉札
趣味：野球観戦（タイガース、ドラゴンズ、オリックス）
特技：たこ焼き、きしめんの早食い

近畿中部防衛局広報誌

2017
10 - 12 月号

近畿中部防衛局管内図
青色部分（東海支局管内）
2 府 7 県の防衛に関する情報誌



（F15J）



（UH60J）

（写真提供：小松基地広報班）

目次

近畿中部防衛局長の年頭の挨拶	2
部隊紹介～航空自衛隊輪島分屯基地	3
潜水艦「しゅうりゅう」命名・進水式	4
近畿中部防衛施設地方審議会開催	5
米軍経ヶ岬通信所に関する動き	6
近畿中部防衛局からのお知らせ	7
なるほど防衛豆知識～「潜水艦の増勢について」	8

藤代近畿中部防衛局長の年頭の挨拶



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年中は当局の業務運営につきましてご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、当局は、近畿・中部地区2府10県に所在する自衛隊や在日米軍の活動に不可欠な防衛施設と周辺地域との調和を図るための各種施策や建設工事、自衛隊の装備品の監督・検査など、防衛基盤を支える業務を実施しています。

また、地域の皆様に広く防衛政策についてご理解が得られるよう防衛問題セミナーの開催、部外団体への講師派遣、広報誌の配布、ホームページの充実などにも取り組んでいます。

当局は、様々な課題を抱えておりますが、今後とも地元の皆様方の声に耳を傾け、職員一同、力を合わせて解決に向けて取り組んでいく所存です。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

部隊紹介～航空自衛隊輪島分屯基地（第23警戒群）

分屯基地の概要

輪島分屯基地は、能登半島の先端、石川県輪島市に所在します。輪島市は、人口約2万8000人、1000年以上の歴史があると言われる「輪島の朝市」と世界農業遺産に認定された田んぼの枚数が約1000枚ある棚田の「白米千枚田」が有名な所です。

敷地面積は警戒管制レーダー等の設置されている高洲山（こうしゅうざん）を含めると約22万平方メートルで、阪神甲子園球場約4個分と日本海側の分屯基地としては最大規模を誇ります。

昭和34年に米軍からレーダー施設を移管されたのが始まりで、昭和36年に現在の第23警戒群に改編され、今年3月に創設61周年を迎えました。



（分屯基地の位置）



分屯基地全景

第23警戒群

全国には28箇所（8個警戒群と20個警戒隊）のレーダーが設置されていますが、輪島分屯基地は其中でも日本海全域を監視する最前線の拠点として、重要な役割を果たしています。航空自衛隊の3本柱は、領空の異変を見つける（レーダー）、緊急発進する（戦闘機）、地対空誘導弾で対処（PAC3）です。日本の空を守ためには、どの柱が欠けても成り立ちません。私たちに課せられた任務は、いち早く領空の異変を見つけること。隊員一人一人には、その重要な任務の一翼を担う自負があります。

地元の多くの皆さんの支援に感謝し、やるべきことをやる。それが第23警戒群の使命です。

地域との交流

地域活動として、防災訓練、市祭等各種行事に協力する等、輪島市からの依頼に応えるとともに、部隊広報として、職場体験、輪島大祭参加等、地元の行事へ積極的に参加しています。特に、輪島市民祭りにおいては、部隊から軽装甲機動車等の車両展示の他、高射群からの展開支援、航空団からの飛行展示の支援を受け、地域住民との交流を深めています。



輪島大祭でのキリコ巡行予行風景



防災訓練の様子



市民祭りでの車両展示

（写真提供：第23警戒群）

潜水艦「しょうりゅう」命名・進水式

雲一つないくらい晴れわたった 11 月 6 日（月）、川崎重工業（株）神戸工場（神戸市中央区）において、海上自衛隊潜水艦の命名・進水式が行われました。

命名・進水式は東京音楽隊三宅 3 等海曹の国歌独唱で開式し、新造された潜水艦は、「しょうりゅう」と命名され、進水式において福田大臣政務官を始めとする防衛省関係者及び川崎重工業（株）関係者等、約 350 人が見守る中支綱が切断されると船台を滑り海に進水しました。

「しょうりゅう」は、最新鋭潜水艦「そうりゅう」型の 10 番艦で、全長は 84.0 メートル、全幅 9.1 メートル、水中を 20 ノットで航行できる性能を有しています。

命名された艦名「しょうりゅう」は、麒麟^{（きりん）}、龍^{（りゅう）}、鳳凰^{（ほうおう）}等に代表される「ずい祥動物の名」の中から選出することとされており、海上自衛隊の部隊等から応募された艦名の中から各種検討の結果を受け、防衛大臣が決定したものです。

「しょうりゅう」は今後、艦内ぎ装工事、海上公試を経て、平成 31 年 3 月に海上自衛隊に引き渡される予定です。



命名式が行われた川崎重工業（株）ドック内



防衛大臣による命名書



支綱を切断する福田大臣政務官



進水する潜水艦「しょうりゅう」



進水した潜水艦「しょうりゅう」

（写真提供：海上幕僚監部広報室）

近畿中部防衛施設地方審議会開催

12月5日（火）、海上自衛隊阪神基地隊において、平成29年度近畿中部防衛施設地方審議会が開催されました。

当日は、阪神基地隊司令及び副長を表敬した後、審議会では、会長の選出が行われ、委員の互選により後藤武夫委員（弁護士）が会長に選出されました。会長は就任挨拶の中で、本審議会が重要な責務を担っていること、今回の視察が委員一同の防衛に関する知見を深める上で有意義であることなどに言及されました。

この後、当局及び支局からは、「漁業補償」をテーマに、管内の漁業補償の現状と課題、和歌山県煙樹ヶ浜^{（えんじゅ）}における水際障害訓練^{（すいさいしょうがい）}の概要、伊勢湾における掃海訓練の概要及び訓練海面設定について説明するとともに、関係する周辺対策事業について業務説明を行いました。この他、阪神基地隊司令から阪神基地隊の概要説明、仮屋磁気測定所長から仮屋磁気測定所の業務説明が行われました。



審議会の様子



掃海艇の見学

審議会を終え、委員一同は、掃海艇「なおしま」を見学した後、交通艇に乗船し、海上から周辺施設の視察を行いました。いずれの場面においても、委員の皆様からは積極的なご質問をいただき、審議会は無事に終了しました。



米軍経ヶ岬通信所に関する動き

米陸軍第14ミサイル防衛中隊・経ヶ岬通信所 中隊長交代式

11月7日（火）、京丹後市大宮町のセントラーレ・ホテル京丹後において、米陸軍経ヶ岬通信所の中隊長交代式が行われました。

交代式には、三崎京丹後市長や地元区長など地元関係者、カレン・ケリー駐大阪・神戸米国総領事、近隣の部隊長など多くの方々に参加されました。



中隊長旗を受け取るボガート新中隊長



式終了後の新・旧中隊長

前中隊長 マクダフィー大尉



京丹後市民の皆様、経ヶ岬通信所への皆様のご支援に感謝申し上げます。第14ミサイル防衛中隊の中隊長として短い赴任期間の間、私は皆様と数多くの関係を構築し、様々な地域の交流イベントに参加する機会に恵まれました。これらは私が陸軍で得た経験の中で最も記憶に残る一つとなりました。在任中には地域の皆様と友好的な関係が構築できたのではないかと考えております。皆様と共に築き上げた関係が今後もさらに発展し、継続していくことを強く願っております。

皆様のご多幸を祈念し、通信所と地域社会の更なる発展を拝見しに改めて京丹後を訪問したいと考えております。

新中隊長 ボガート大尉



私は第14ミサイル防衛中隊の新中隊長ポール・ボガート大尉です。第14ミサイル防衛中隊経ヶ岬通信所からご挨拶申し上げます。

私はインディアナ州インディアナポリス市の第157歩兵旅団本部及び本部中隊で中隊長の任務を一年半勤め終え、着任いたしました。インディアナ州キャンプ・アタベリーの任務では陸軍兵、州兵、陸軍予備役部隊、また地域の警察機関を含めた様々な組織と共に地域社会を効果的に支援し、地域防衛の協力体制を築き、発展させてまいりました。これからも京丹後市の様々な機関と友好関係を発展させ、自衛隊との協力関係を継続し、地域社会との関係も更に深化させていくことを楽しみにしています。世界で最も美しい場所の一つであるこの地域に皆様が温かく私を迎え入れて頂いたことに感謝申し上げます。ここ日本にて任務に就けますことを光栄に感じております。

近畿中部防衛局からのお知らせ

駐大阪・神戸米国総領事来局

10月18日（水）、駐大阪・神戸米国総領事館のカレン・ケリー総領事が着任挨拶のため来局されました。藤代局長から当局の概況説明、米軍経ヶ岬通信所に係る現状と課題等の説明を行い、当局の業務に対する理解を深めていただきました。カレン・ケリー総領事にとって、同総領事館は2回目の勤務となり、今回、18年ぶりに初の女性総領事として8月に着任されました。

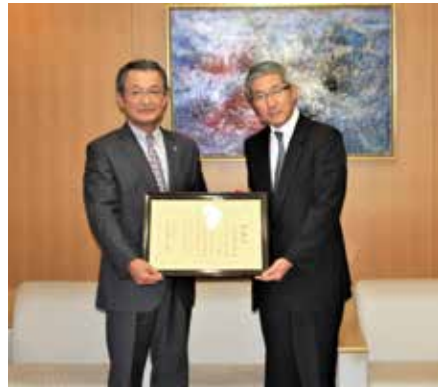


総領事来局時の様子

局長感謝状贈呈

11月2日（木）及び同月10日（金）、滋賀県高島市長及び京都府舞鶴市長にそれぞれ近畿中部防衛局長から感謝状を贈呈しました。高島市の福井市長は、中部方面隊管内最大の演習場である饗庭野演習場の安定的使用に大きく貢献されました。

舞鶴市の多々見市長は、日本海の海上防衛・警備を担う舞鶴基地の安定的使用に大きく貢献されました。



高島市長への贈呈



舞鶴市長への贈呈

ホームページをリニューアルしました

本年4月1日から、若手職員の協力により、ホームページをリニューアルしました。

トップページには従来の入札・契約情報等に加えて、潜水艦など管内の装備品の写真を掲載したほか、局内の主要な業務、防衛セミナー等のイベント情報へアクセスしやすいよう、構成を見直しました。また、装備品監督業務のページを新たに設け、装備課の業務や装備品の例を紹介しております。

ぜひ一度、近畿中部防衛局のホームページをご覧ください。



トップページ画面



なるほど防衛豆知識

質問：潜水艦の増勢について

回答：

周辺国の海洋における活動が活発化している中、わが国周辺海域の防衛などのため、海上自衛隊では、潜水艦部隊を質量ともに増強することに取り組んでいます。

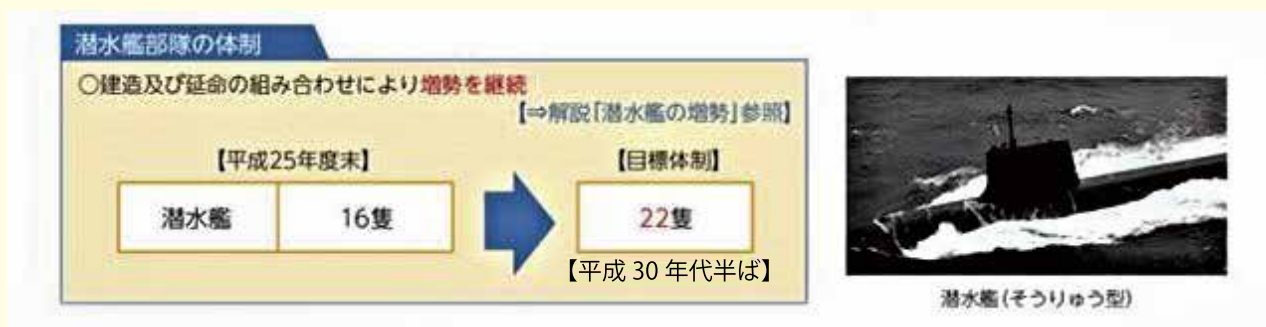


29年度潜水艦（3,000トン型）（イメージ）

質の面では、これまでも能力向上を図ってきたところ、平成29年度予算では、新型潜水艦を建造することとしています。新型潜水艦は、静粛性などの面で、より高性能化する諸外国の潜水艦への対応能力の向上を図るため、従来の潜水艦に比べて、より遠くの潜水艦の探知が可能になるとともに、相手からもより探知されにくくなっています。

量の面においては、潜水艦の建造や既存の潜水艦の艦齢延伸により増勢を図っているところ、大綱に基づき、平成29（2017）年度に第6潜水隊を新編することで、5個潜水隊体制から6個潜水隊体制に移行します。

これらの取り組みにより、平成30年代半ばには、防衛計画の大綱で定められた22隻体制が完成する見込みです。



（29年版防衛白書より抜粋）

■ ご意見・ご感想等募集 ■

近畿中部防衛局では、今後も防衛省・自衛隊の様々な活動や当局の取り組みなどを皆様に分かりやすくお知らせしていきたいと考えております。

本誌に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですのでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

（住所）

〒540-0008

大阪府中央区大手前4丁目1-67

近畿中部防衛局

広報編集委員会（報道官気付）

（電話・FAX）

TEL 06-6945-4953

FAX 06-6910-5669

（メールアドレス）

goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局広報誌「近畿中部」は、近畿2府4県及び北陸3県所在の自治体、大学図書館及び公立図書館などに無料で配布しています。ご希望があれば、他の機関へもお届けしますので、お気軽にご連絡ください。

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先

TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2017年10-12月号（通算第50号）

平成30年1月発行

近畿中部防衛局
広報編集委員会

TEL 06-6945-4953

URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。